



- *平成14年～ ウエルコート販売開始。「ウエルコート代理店会」発足。
- *平成15年8月20日 光触媒製品技術協議会「SITPAマーク」取得。
- *平成18年11月1日 光触媒製品技術協議会が光触媒工業会に吸収合併。
- *平成19年3月9日 光触媒工業会より「SITPAマーク」の継続承認。
- *平成28年10月24日 光触媒工業会「PIAJマーク」取得。

登録番号 2016-0013 抗菌効果、空気浄化（ホルムアルデヒド）

[液剤構成]

- ・アパタイト表面処理（コンペイ糖形状）可視光反応型光触媒酸化チタン
- ・可視光反応型光触媒酸化チタン
- ・酸化亜鉛担持酸化チタン
- ・ナノ銀粒子
- ・アクリルエマルジョン系特殊バインダー
- ・界面活性剤成分

[液剤取扱注意事項]

- ・微黄白色水系、無機物分散液体です。
- ・**静置保管で無機物成分が分離沈降します。**
使用前には、沈降、固形成分が完全になくなるまで、インナーバッグごとよく振って下さい。（梱包形態＝10kgバッグインボックス）
- ・ご使用後は、密栓し、箱に戻し、冷暗所で保管してください。
なお、0℃以下で保管し凍結した場合は、解凍しても再使用できませんので、ご注意下さい。

- ・ 人体やペットなどの生き物に直接噴きかけないで下さい。
- ・ 幼児の手の届かない所に保管して下さい。

[使用方法]

- ・ 事前に、塗布しようとする部分の汚れは、あらかじめ洗浄し、十分に乾燥してから塗布作業を開始して下さい。

- ・ 中低圧スプレー塗装機を使用。(ノズル径：0.3～0.8mm 推奨)

塗布量 = 10 g/m² ~ 20 g/m²。(転着率 = 70% ~ 80%の場合)

*** 壁面などの垂直部分でスプレーし、「液ダレ」が発生しない量が、
1回のスプレーの限界量です。**

- ・ 塗布後、1～3時間で乾燥硬化。(塗布場所の温度、湿度で異なります)
- ・ 基本的には、1回のスプレー塗布で作業完了ですが、「塗布量」が規定値に満たない場合や光触媒効果を高めたい場合は、1回目のスプレー塗布部分が、完全に乾燥している事を確認した後、同じ場所にあらためて、スプレー塗布して下さい。

[施工できる箇所、施工できない箇所]

○ 施工できる箇所

カーテン・壁紙・天井、ソファ・マット・木材部などの室内材および衣類などの繊維製品。

○ 施工できない箇所

皮革製品・和装品・絹など、水に弱い繊維や撥水加工品、美術品、鏡、ガラス、鏡面仕上部分、プラスチック素材、平滑、光沢面、火災報知器、金属、濃色の塗装面、外装部分。

*** 本品は、乾燥後、完全な透明皮膜ではなく、白っぽい半透明皮膜となります。**

[塗布時注意事項]

- ・ 施工中は防塵マスクを着用し呼吸器への吸入は避けて下さい。
- ・ スプレー時、「液ダレ」が発生した場合は、水に濡らしたウエスで液剤を拭き取って、あらためてスプレー塗布し直して下さい。

[PIAJマーク表示概要]

(1)商品名	ウエルコート		
(2)光触媒等の種類	酸化チタン、銀		
(3)光触媒等加工部位	壁・天井等の内装材表面への塗工		
(4)光触媒等の効果	照射下での抗菌効果の測定は、JIS R1702 フィルム密着法に準拠しました。		
抗菌効果	抗菌効果 * 1	大腸菌	抗菌活性値は4.9 照射による効果は0.5
		黄色ブドウ球菌	抗菌活性値は4.5 照射による効果は2.2
	試験条件	紫外線強度0.10mW/cm ² (この条件は昼間の窓から1.5m程度内側の室内に相当します。)	
	暗所での抗菌効果はJIS R 1702 附属書A に準拠して測定し、抗菌活性値が2.0以上であることを確認しています。		
空気浄化 (ホルムアルデヒド)	測定方法はJIS R 1701-4に準拠しました。		
	ホルムアルデヒド除去量 * 2	2.26 μmol/h	この製品を部屋の容積1m ³ あたり1m ² の面積使用すると、昼間に室内空気中のホルムアルデヒドを57%低減させる効果を期待できます。
(5)使用できる場所	抗菌：本製品は暗所でも銀による抗菌効果を発現します。窓から1.5m程度より強い太陽光の当たる場所では、光触媒の働きでより強い抗菌効果を発現します。 空気浄化：太陽光の入る住宅・建物の室内。		
(6)安全性	急性経口毒性、皮膚一次刺激性、変異原性について、光触媒工業会の安全性基準を満足していることを確認しています。		
(7)使用上の注意	表面に過度の汚れが付着していると、十分な抗菌効果が得られませんので、定期的な洗浄をお勧めします。 尚、実環境での効果は、本製品がコートされる面積、照射される紫外線の強さ、部屋全体の容積、換気量に依存します。		
* 1 光触媒工業会の認証基準は抗菌活性値が「2.0」以上、照射による効果が「0.3」以上です。抗菌活性値が「2.0」とは、抗菌効果により菌数が1/100に、「3.0」とは菌数が1/1000になることを表します。また、照射による効果が「0.3」とは光を当てない条件の菌数に対し、照射により菌数が約半分になることを表します。			
* 2 光触媒工業会の認証基準はホルムアルデヒド除去量0.17 μmol/h以上です。この数値は、50cm ² あたりのホルムアルデヒド除去量であり、この数値が高いほど室内のホルムアルデヒドを低減させる効果が高くなります。			

※光触媒工業会の表示ガイドラインを遵守して表示しています。



五大化成株式会社



光触媒工業会

e-mail: godai-kasei@eto.eonet.ne.jp

本 社 〒546-0032 大阪市東住吉区東田辺2丁目15番2号
TEL: 06-7500-6878 FAX: 06-7635-5438



Gファクトリー 〒546-0022 大阪市東住吉区住道矢田5丁目8番19号
TEL: 090-8202-8838 FAX: 06-7635-5438

[施工・液剤販売代理店]

有限会社エスト 代表取締役 吉川 淳

〒175-0092 東京都板橋区赤塚1-11-1 ドゥエルカーム1F

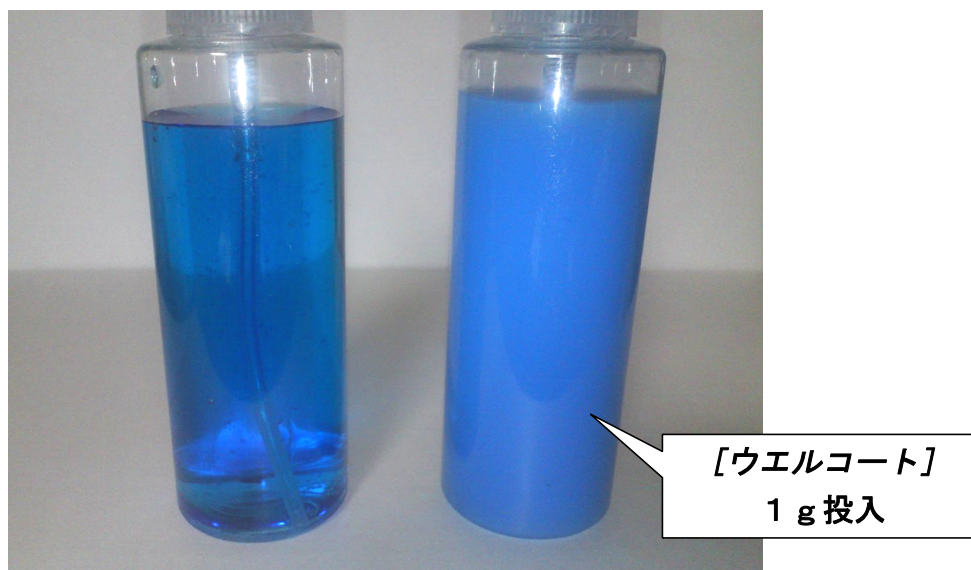
TEL: 03-5967-1354 FAX: 03-5967-1364

eMAIL: yoshikawa@est-e.com

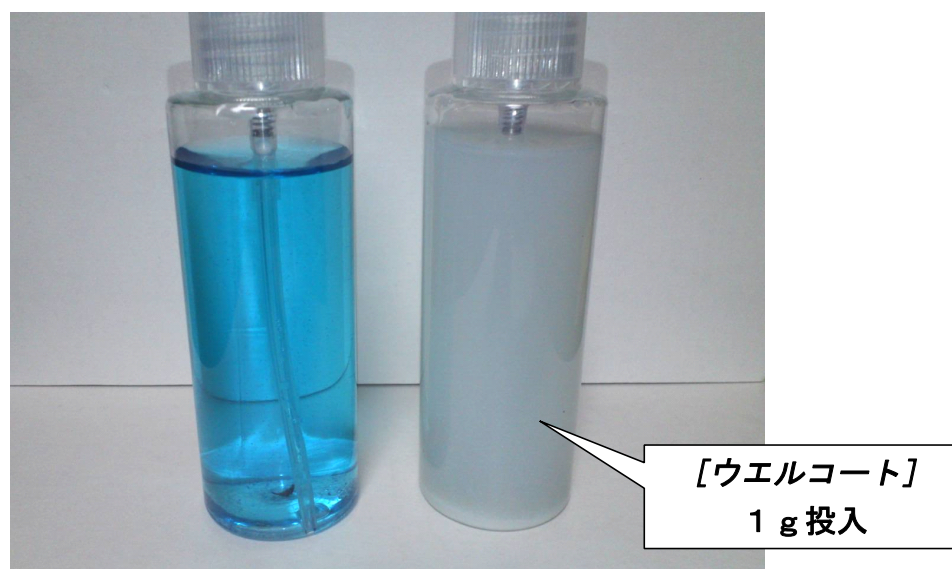
[液剤での性能]

・メチレンブルー消色試験

2つの透明容器に規定濃度のメチレンブルー水溶液を各々50g入れ、片方の容器にのみ【ウエルコート】を1g投入し、室外直射日光下に放置し、色の変化を観察する。



「光」照射前



「光」照射 10時間後

* 低濃度、短時間で、「メチレンブルー（有機物を分解）」